

平成30年度重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

高岡市立こまどり支援学校

具体的な達成目標

- **歯みがきの習慣化** → 学校評価アンケート80%以上
児童生徒が、歯みがきに進んで取り組もうとする。
(必要な口腔ケアを受け入れることができる。)
- **情報機器活用能力の向上** → 学校評価アンケート80%以上
児童生徒が、情報機器（ICT）を活用した学習に進んで取り組もうとする。

前年度

前年度の取組「自分なりの表現で挨拶」は目標を達成することができた。2年間継続して取り組んだことで、児童生徒が個に合った表現方法で挨拶する習慣が定着してきたと言える。また、「キャリア発達を促すための授業改善」も高い達成率となった。「こまどり版4つの力」の内容表に即して児童生徒の実態に合った指導・支援を実践することができ、一定の成果を上げることができたと捉える。

今年度

今年度は、4つの力のうち基礎的な力として位置付けている「健康を保持する力」に着目し、日々評価できる活動として「歯みがき」を取り上げ、児童生徒の積極的な実践能力の向上を図る。また、児童生徒のコミュニケーション能力や情報活用能力の育成をねらい、情報機器（ICT）の活用を通して授業改善を行うことで、一人一人の発達段階に応じた主体的、対話的な学びの実現を目指す。

行動Ⅰ

歯みがきの習慣化

歯みがきに進んで取り組もうとする。

- ① 児童生徒が行う歯みがき（口腔ケア）について具体的な目標設定を行う。
- ② 児童生徒が自ら歯みがきに取り組むよう（口腔ケアを受けるよう）促し、目標が達成できたら大いに褒め、歯みがきカレンダーに記録する。
- ③ カラーテスターで磨き残しを確認することで、磨きにくい場所を意識して歯みがきに取り組むことができるようにする。
- ③ 各種便りで、保護者への啓蒙を図り、家庭での実践につなげる。
- ④ 児童生徒会を中心に歯みがき強化週間を設定し、歯みがきを呼び掛けることで、全児童生徒の意識化を図る。

情報機器活用能力の向上

情報機器（ICT）を活用した学習に進んで取り組もうとする。

- ① タブレット端末を使用して、学習の様子を写真やビデオとして記録し、振り返りの場面で生かす。
- ② HDDレコーダやインターネット上の動画を効果的に提示し、学習内容の定着や発達を促す。
- ③ インターネットで調べ学習をさせたり、ホームページに記事を書かせたりすることで、情報の収集及び発信の方法について学ばせる。
- ④ タブレット端末の50音表やイラストカードへのタッチによる音声反応に親しみながら、主体的な意思表示を引き出す。
- ⑤ タブレット端末やVOCA、スイッチ等の操作による音や光・動き等の刺激を楽しみながら、自発的な手指の動きを引き出す。
- ⑥ 教師が授業改善に取り組み、情報機器（ICT）の効果的な活用を図りながら一人1実践をまとめる。

中間評価

中間評価

教員・保護者・一部児童生徒への学校評価アンケートにアクションプランの達成度を問う項目を設け、点数化して集計し評価を行う。

- ・ 児童生徒の達成状況を評価する。
- ・ 教師の手立てについて評価する。
- ・ 授業や活動の改善に向けた計画を見直す。

行動Ⅱ

歯みがきの習慣化

①～④を継続

情報機器活用能力の向上

①～⑥を継続

年度末評価

年度末評価

教員・保護者・一部児童生徒への学校評価アンケートにアクションプランの達成度を問う項目を設け、点数化して集計し評価を行う。

- ・ 児童生徒の達成状況を評価する。
- ・ 評価結果を保護者向け案内で公開する。
- ・ 学校評議員会で結果を示し、意見を仰ぐ。

次年度

指導・支援の成果と課題を明確にして、次年度の重点目標と達成目標を設定する。